

所属長印

同志社大学

2009年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2010年 3月 18日提出

所属	職名	氏名	印
総合政策科学研究科	准教授	西村仁志	
研究題目	持続可能な社会のための学習拠点「自然学校」についての研究		
研究成果の概要	<p>本研究は「自然学校—自然体験を中心とした学習拠点」が、中山間地域の直面する諸課題の解決、ニートやひきこもりなど青少年世代のかかえる問題の解決、持続可能な地域づくりなどに貢献していくことを明らかにするものである。また将来、重要となることが予想される「Education for Sustainable Development (ESD) = 持続可能な開発のための教育」において「自然学校」が果たしていくべき役割についても明らかにしつつある。</p> <p>今年度については 2009 年 7 月発行の総合政策科学研究科紀要「同志社政策科学研究」第 11 巻（第 1 号）において論説『ソーシャル・イノベーション実践研究のための「マインド」、「スキル」、「ツール」』、また第 11 巻（第 2 号）において研究活動報告『公害地域のいまを伝えるスタディツアー2009—富山・イタイタイ病の地を訪ねて』として纏め、採録されている。</p> <p>また関連して 2010 年 4 月発行『ボランティア論—「広がり」から「深まり」へ』（株式会社みらい発行）において「第 7 章 環境とボランティア」として執筆し、出版されている。</p>		